

■ 審査項目

1. 1次審査（100点満点）

1) 企画提案書の審査（客観的評価）

企画提案者の事務所全体の実績、技術者数、資格者数を審査基準に基づき評価、採点する。また、当業務を担当するチームの総括責任者、および建築（意匠、構造、積算）、電気、機械の各主任技術者の資格、経験、業務実績を審査基準に基づき評価、採点する。

		評価項目		評価事項		様式番号	評価のウェイト		
資格・経験の評価	事務所の 実力	業務実績数		業務の実績数		様式5-1	3		
		技術者数		資格を考慮した技術者数		様式4	2		
		有資格者数		有資格者数		様式4	2		
		小計(イ)						7	
	担当チームの 能力	総括責任者	資格・経験		資格及び経験係数		様式6-1	2	
			業務実績		業務実績及び立場			2	
		主任技術者	建築	意匠	資格・経験	資格及び経験係数		2	
					業務実績	業務実績及び立場		2	
				構造	資格・経験	資格及び経験係数		2	
			業務実績		業務実績及び立場			2	
			積算		資格・経験	資格及び経験係数		1	
				業務実績	業務実績及び立場			1	
		電気		資格・経験	資格及び経験係数			2	
			業務実績	業務実績及び立場		2			
		機械	資格・経験	資格及び経験係数		2			
			業務実績	業務実績及び立場		2			
		その他の技術者		資格・経験				1	
		小計(ロ)						23	
		資格・経験の評価合計(イ)+(ロ)						30	

2) 企画提案書の審査（主観的評価）

企画提案書のうち主観的評価に該当する、設計思想・方針、および「新瀬戸内市立図書館設計業務プロポーザル企画提案書等作成要領」で要請している以下の課題について評価、採点する。設計思想は、様式5-2で示される事務所の実績概要も主観的評価を行う。

【 A (1.0) : 極めて優れている B (0.8) : 優れている C (0.6) : ある程度評価できる D (0.4) : 劣っている E (0.2) : 極めて劣っている 】

		評価項目	評価事項	ウェイト
提案内容の評価	担当チームの 対応(一部事務所実績の主観的評価を含む)	担当チームの設計思想・設計方針(瀬戸内市らしさ、未来志向性)及び代表実績の評価		10
		「新瀬戸内市立図書館整備基本計画」および、「新瀬戸内市立図書館整備実施計画」への適応性。		20
		館内における「にぎわい空間」と「静寂空間」のすみ分けについての的確性		15
		郷土博物資料(竹田喜之助人形含む)と図書館資料との融合的な展示および配架についての的確性、及び実現性		15
		機能的かつ快適な空間の実現と稼働率を高める具体的な方策の的確性。		5
		利用者と管理者の動線処理および、隣接する中央公民館との連絡における利用者と管理者の動線処理についての的確性		5
提案内容の評価合計				70

2. 2次審査 (100点満点)

提案者によるプレゼンテーションと質疑、および第1次審査の再評価を含め総合的に評価する。
評価基準は以下の通り。

1) 第1次審査の再評価 (ウエイト: 40ポイント)

2) 設計方針を再評価 (ウエイト: 30ポイント)

プレゼンテーションおよび質疑での設計方針、設計思想を総合評価

※5段階評価とする (A~Eで評価)

【 A (1.0):極めて優れている B (0.8):優れている C (0.6):ある程度評価できる D (0.4):劣っている E (0.2):極めて劣っている 】

3) 提案内容を再評価 (ウエイト: 30ポイント)

プレゼンテーションおよび質疑での設計方針、設計思想を総合評価

※5段階評価とする (A~Eで評価)

【 A (1.0):極めて優れている B (0.8):優れている C (0.6):ある程度評価できる D (0.4):劣っている E (0.2):極めて劣っている 】

① 「基本計画」、「実施計画」への適応性 (ウエイト: 9ポイント)

② 「にぎわい空間」と「静寂空間」における空間構成の的確性 (ウエイト: 8ポイント)

③ 郷土博物資料と図書館資料との融合展示の独創性、及び実現性 (ウエイト: 8ポイント)

④ 利用者と管理者の動線処理、隣接公民館との連絡の的確性 (ウエイト: 5ポイント)